

日出国の教育目標や生徒たちの学園での様子を発信する年3回発行の情報紙です。



学園通信 日出

学園通信「日出」Vol.46 2025年5月1日発行
<https://www.hinode.ed.jp/>
 発行：学校法人日出国園
 〒272-0824 千葉県市川市菅野3-23-1
 TEL 047-323-3000
 FAX 047-324-0921



2025.5
Vol.46



日出国園 幼稚園／小学校／中学校・高等学校 2024年度「まとめ」 2025年度「教育方針」

日出国園 卒業生からのメッセージ

“やりたい”を実現する 今のひのでっ子たち



現在(丸)と小学校時代の斉藤先生(左)



日出国園小学校
2年1組担任
斉藤 奈々
Saitou Nana

私と日出国園との出会いは小学生のときでした。1年生の2学期から新校舎になり、ピカピカの学校でうれしく思っていたことを覚えています。そしてそこから12年間日出国園に通い、現在は小学校教諭として勤務しています。

在学中、最も印象深かった出来事は、高校の修学旅行を途中で帰ったことです。高校の修学旅行は熊本県と長崎県に行きました。初めての九州に胸を弾ませ、長崎原爆資料館では戦争の悲惨さを改めて感じました。

多くの体験ができた修学旅行ですが、私が帰ったのは3日目でした。早退理由は、ソフトテニス部の県大会に出場するためです。当時の私は、高校で入部してきたテニス経験者の子とペアを組み、県大会出場を目標に練習に励んでいました。

そして練習の成果がでて、9年ぶりの県大会出場を果たせました。事前に顧問の多田野先生から修学旅行の日とかぶっていることは伝えられていました。私とペアの子は、それでも県大会にでたいと言って、修学旅行を早退することを決めました。この出来事は今でもいい思い出です。

10年ぶりに日出国園小学校に戻ってみると、私が通っていた時とは良い意味で変わったと思いました。何と言っても、子どもたちが自由にのびのびと生活しています！かなり主観的な話になってしまうのですが、私が小学生の時は怖い先生に怒られないよう控え気味に生活していました(ひっそりと遊ぶために、忍者ごっこをして怒られたこともありました)。

それに比べて今の児童は、恐れ知らずに飛び込

んできます。そして自分たちの“やりたい”を実現させています。そこが良い意味で変わったところであり、日出国園の素敵なおとこだと思います。

学生時代から教員1年目を経て考えたことは、「反省はする必要があるが、後悔はする必要がない」ということです。テスト、受験、就職など人生の大きなイベントは数々あります。その時、うまくいかなかったことをずっと悔やんでもしかたないです。それよりも吹っ切れて、改善策を考えながら次に進んだほうが人生楽しい気がします。

周りからは楽観的といわれますが、時には楽観的になっても良いと思います。気を詰めすぎず、自分と周りが楽しめるように生きてみてください。そして、卒業生たちは、たまには学校に顔をだしてもらえると嬉しいです。

巻頭言

2025年度 学園運営方針



学校法人日出国園 学園長
青木 貞雄

本学園は、昨年度、創立90周年を迎えましたが、保護者・卒業生・教職員等のご協力による記念事業を通じてアリーナ1・2に空調設備設置、メディア・センター拡充、および幼稚園遊具更新等の教育環境向上を図ることができ、創立100周年に向けた新たなスタートを切ることができました。

さて、幼稚園29名、小学校97名、中学校124名、高等学校159名の新生を迎え、全学で1,539名(在籍定員1,572名)の園児・児童・生徒、および197名の教職員による2025年度が始まりました。第4次中期経営計画の最終年度を迎えた本年度は、以下の目標の具現化に力を入れるとともに、目標を一段階高めた第5次経営計画の策定、および着手できる新規施策の先取りに取り組みます。

具体的には、建学の精神に基づく、厳しいが愛情溢れるきめ細やかな教育・指導を通じ、社会生活の基本となる校訓「誠・明・和＝なおいく・あかるく・むつまじく」の精神実践、ならびに健全で強靱な体力・精神力、および習得した知識を実践に即して的確に活用できる思考力・判断力を備えた生徒の育成を基本とし、

①幼稚園：保育園指向拡大等により、唯

一在籍定員割れをしている園児の回復に向け、基本保育方針「自由保育」を通じた園児の自主性養成に加え、小1の壁に対処すべく、授業受講態度習得を始めとし、読み書き・数字・英語・音楽等の当学園の特徴を生かした幼小連携教育プログラム推進、および専任副園長配置・教員増による保育の充実、ならびに入試広報活動強化を図ります。

②小学校：英語を含む言語表現教育拡充、および教科担任制・習熟度別授業充実を中心に、児童の能力開発・学力向上に注力しますが、名門中学校進学児童拡大と合わせ、昨年度は卒業生100名中、併願2名を含めた57名(特待生9名を含む)が中学校に内部進学した実績の維持・拡大策を検討・推進します。

また、保護者の要望も勘案し、都内の小学校では一般化している週完全5日

制授業導入を検討します。

③中学校・高等学校：大学のない本学園は、近年強化した取り組みが成果をあげ、学園知名度・入試倍率向上に繋がった国公立を含む難関・名門大学進学率の今年度目標40%具現化が最大の課題です。しかし、同時に、生徒の将来を見据え、平和で心豊かな世界構築に貢献する大志と能力を備えた国際人育成に向け、中高一貫教育課程見直し・充実、および文武両道の追求強化、並びに高校受験生の学校選択順位が高い、特別指定強化部活動新設等に取り組みます。

教職員一同、今年度も生徒の皆さんの能力開発・強化を目指す教育・指導に努めますが、皆さんには、学園生活に一生懸命取り組み、楽しく、かつ充実した1年としてくれるよう願っています。

幼稚園／小学校／中学校・高等学校 2024年度《全学期のまとめ》

2024年度 **まとめ**

幼稚園

日々の保育、行事を通じて、一人ひとりが自分の力を発揮し、遊びや活動の中で友だちとの関係を深めた2024年度

保護者の皆様には多くのご支援、ご協力をいただき、無事一年間を終えることができました。心より御礼申し上げます。

2024年度の運営目標は「一人ひとりが自分の力を発揮し、遊びや活動の中で友だちとの関係を深める」と掲げ、日々の保育、行事を通じて皆で取り組んで参りました。

走る、ジャンプするなど力強く身体を動かし、体幹につながる動きが育まれる年少児。話すことも上手になり、自分の思いや考えを言葉で伝える力もついてくる時期です。いろいろなことの原因も気になります。日々の保育では季節感、丁寧な言葉遣いを意識し、身体を動かす活動を多く取り入れながらもお友だちと一緒に

遊びを楽しめるようになりました。箸の使い方も学び、自分でできることもたくさん増えました。2学期から始まったネイティブ教員との英語遊びも、自然と入り込めました。

心も身体もぐんと成長し、自分でできることが増えてきた年中児。英語遊びに加えて運動遊びも始まりました。声かけを意識し、お友だちとの遊びを楽しむこと、お友だちとの活動の場を増やして皆で話し合い、確認する機会も持ちました。自分とは違うお友だちの考えに気付くことも増え、2学期後半から取り入れた当番活動では日常生活での役割を担うことも学びました。3学期からはワークタイムも始まり、考える力をつけ、社会性も育ってきました。

お友だちと一緒に活発に活動する機会がぐっと増える年長児。自分たちでルールを作りながら遊ぶ姿も見られます。語彙力も増え、お友だちとのトラブルも状況や流れを説明できるようになり、一日の流れを時計の針の位置に合わせて見通しを立てて自ら動けるようになりました。鍵盤ハーモニカの学習、小学校入試、入試後の小学校準備に向けたワークタイムも毎日行い、小学校での学びの基礎となる社会性や自立心も育まれました。さらに今年度は90周年記念式典での合奏参加もあり、たくさんのお友だちの学び、経験し、やり遂げました。

本園は、自由保育の中にも要所要所に設定保育を取り入れ、小学校入学がスム



スに行えるよう準備しております。猛暑で園外活動が制限される中でも、小学生や中高生との交流の機会を数多く取り入れ、文科省の「虹の架け橋プログラム」が各自自治体苦慮している中、学園内で出来ることは恵まれた環境にあると思います。

次年度も園児が安全第一に楽しい園生活を送ることができるよう教職員一丸となってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(日出学園幼稚園 副園長 藤原佐具子)

小学校

自学習アプリ「モノグサ」の運用拡大、各種検定試験に挑戦、英会話の習熟度別クラス、協働学習等、新たな学びの形を追求

本校は創立90周年を迎え、「なおく・あかるく・むつまじく」の校訓のもと、「自分のよさを知り、未来にたくましく進める子」の育成を目標に教育活動を進めています。2024年度は90年の歴史と伝統を大切にしながら、時代に即した新たな学びの形を追求した1年となりました。

ICTの活用による個別最適な学びを支援しつつ、グループワークやプロジェクト学習を通じた協働的な学びを取り入れることで、児童一人ひとりが自分のペースで学ぶとともに、他者と協力しながら学びを深める環境を整えました。

ICT機器の活用については、自学習アプリ「モノグサ」の運用が今まで以上に広がりました。個々の進度に応じた学習が

可能となる中で、児童は自分のペースで学びを深めるとともに、学習の進捗を自ら管理しながら取り組む姿勢が見られるようになりました。また、今年度より漢字検定、JETに加え、算数検定、英語検定、歴史検定など、検定試験の受験機会を増やし、児童がそれぞれの目標を持って学習に取り組めるようにしました。導入初年度にも関わらず、算数検定119名、英語検定105名が受験しました。

これまででも継続して行ってきた学年ごとの補習には、学年の枠を超えて算数科の教員も指導に関わるなど、児童の理解度に応じた個別支援を強化しました。6年生では、昨年より自学習用の補習教室を開設。学習に対する主体性が高まり、自ら



進んで学ぶ児童が増えました。

そして、英会話の授業では習熟度別クラスを導入し、一人ひとりに合った指導を行うとともに、英語に触れ合う時間を確保することで、実践的なコミュニケーション力の向上に努めました。また、各教科でグループワークやプロジェクト学習といった協働的な学びを取り入れ、他者と協力しながら課題解決に取り組む力を

養いました。

加えて、2024年度より、4年生～6年生を対象に、明光ネットワークジャパンによる校内学習塾「ひのキッズ学習コース」を開校しました。放課後、校内で学習塾に通うことが可能となり、帰宅後に改めて通塾するより安全で、校内で全て完結するため効率が良く、保護者の方から感想をいただいております。

次年度は、創立90周年の歴史を受け継ぎながら、5年後、そして10年後の100周年を見据え、児童一人ひとりが自分のよさを知り、未来にたくましく進める力をさらに伸ばしていけるよう、より充実した学びの環境を築いていきます。

(日出学園小学校 教頭 北村 小百合)

中学校
高等学校

オーストラリア姉妹校との交流再開、本校生徒の海外留学等、グローバル学習が充実。難関大学合格者数は2024年度も躍進

平素より、本学園の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2024年度は、新型コロナウイルス感染症に関する制限が撤廃され、改めて学校活動を本格的に再開する年となりました(ただし、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザなどの感染者数は、コロナ前よりも多い傾向にあり、引き続き注意が必要だと考えています)。

特に国際交流においては、コロナ前よりもさらに充実した取り組みを行いました。6月にはオーストラリアの姉妹校、St Paul's Anglican Grammar Schoolから31名、9月には同じくオーストラリアの Balcombe Grammar Schoolから22名の生徒と教



員が来校し、交流を深めました。さらに、2024年度には短期・長期の留学生3名を受け入れ、現在も5年生のクラスには留学生の Bradyさんが在籍しています。

一方、本校から海外へ留学している高校生も3名おり、加えて文部科学省のプログラム「トビタテ! 留学JAPAN」に選抜され参加した生徒もいます。グローバル学習の

面でも、オンライン英会話、グローバルイベント、留学説明会、英語キャンプなどの充実を図っています。

2024年度の高校3年生の大学入試については、昨年の大躍進に続き、大きな成果を上げることができました。6年ぶりに旧帝大への現役合格者も出ています。詳細は、掲載している「2024年度主要大学合格実績」をご覧ください。

今後も生徒が志望校への合格を果たせるよう、引き続き全力で支援してまいります。保護者の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(日出学園中学校・高等学校 教頭 佐久間 究)

2024年度 主要大学合格実績

大学名	現	卒
北海道大学	1	
筑波大学	1	
千葉大学	4	
東京藝術大学		1
宇都宮大学	1	
茨城大学	1	
琉球大学	1	
神奈川県立保健福祉大学	1	
防衛大学校	1	
計12		
早稲田大学	7	
慶應義塾大学	4	
上智大学	12	
東京理科大学	2	
計25		
学習院大学	9	1
明治大学	21	1
青山学院大学	3	
立教大学	31	2
中央大学	8	
法政大学	18	
計94		
同志社大学	1	
立命館大学	1	
日本女子大学	3	
計5		
聖マリアンナ医科大学	1	1
計2		

2025年度 教育方針

幼稚園 運営目標

友だちと一緒に多様な体験を重ね、
思考力・主体性を伸ばす

幼稚園では花々が咲き、池ではオタマジャクシも元気に生まれ、春の訪れを教えてください。新しいお友だち、保護者の皆様、この度はご入園おめでとうございます。日出学園幼稚園では、大勢の年長さん、年中さんが、皆さんと会えるのを楽しみにしていました。困った時には先生やお兄さんお姉さんに何でも聞いてください。

さて、本園は「なおく・あかるく・むつまじく」の校訓のもと、「多様な体験を通して思考力と主体性を育てる」という大きな教育目標を立て、保育を実践しております。

また、従来より一貫校としての強み

を生かして幼小連携カリキュラムに力を入れ、常に内容を見直しながら現在の園児たちに必要な教育内容を実践してまいります。



今年度は「友だちと一緒に多様な体験を重ね、思考力・主体性を伸ばす」という年間目標を立てました。現代の子どもたちは便利な生活環境の中で育っており、体をたくさん動かしたり、精一杯頭を使ったり、友だちと協力して生活する経験が少なくなっています。

そのような傾向はコロナ禍以降、特に顕著になっています。普段の生活でかかわる友だちの数に関しては少子化の影響も見られます。日出学園幼稚園では、子どもらしい集団生活の中で規則正しい生活

を身に付け、心身ともにたくましく、生きる力を育てて参ります。幼小連携カリキュラムでは、園児たちに必要な準備教育を見極めながら、年中・年少それぞれで実践できる保育をしていきます。国語、算数、生活等、各教科につながっていく体験を、保育の中できちんとできるようにするとともに、教科の学習を支えるための意欲や態度、忍耐力やレジリエンスを育みます。今年度も、どうぞよろしくお願いたします。

日出学園幼稚園
園長

鍛冶 礼子



今年度も、どうぞよろしくお願いたします。

今年度も、どうぞよろしくお願いたします。

今年度も、どうぞよろしくお願いたします。

小学校 運営目標

自分のよさを知り、
未来にたくましく進める子

新入生保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。期待と希望に溢れたかわいい1年生を教職員一同、心より歓迎いたします。



本校では、「なおく・あかるく・むつまじく」の校訓のもと、学校目標として「自分のよさを知り、未来にたくましく進める子」の育成に取り組んでいます。

コロナ禍が過去のものとして感じられるようになり、運動会、学園祭、校外学習など、教室での活動以外にも児童が楽しみにしている行事が盛り沢山に予定されています。行事を経験するごとに小学生らしく成長してくれると思います。

本校の取り組みとして、4年生以下の英会話の授業では習熟度別に2クラスに

分け、授業を行っています。基本をしっかり身に着けるクラス、より実践的な英語力を身につけるクラスと、児童それぞれの英語力を伸ばす指導をするために適正なクラスで授業を受けられるよう配慮してまいります。

各学年の補習では学年ごとに曜日を設定し、指導する体制は今まで通り変わりありません。4年生以上の学年では、昨年度スタートしたひのキッズの学習コースを必要に応じて活用することもできます。3年生以上では、自学習アプリ「モノグサ」で英単語、漢字、社会(県名および県庁所在地など)、計算など基礎学力の定着にICT機器を活用しています。

さらに、言語表現指導の徹底に取り

日出学園小学校
校長

荻原 巖



組むとともに小学校の研究主題として「自分の考えを表現し、学びを深める～効果的な学習活動を目指して～」を策定し、教科横断的な授業作りに取り組みます。

また、自ら目標設定をして取り組む学習態度を大切にしたいと考え、6年生の放課後自習室開放や漢字検定、英語検定、数学検定などの受検機会を作り、自ら学ぼうとする姿勢をバックアップする体制で臨みます。

今年度も信頼できる学校となるよう教職員一同取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

中学校
高等学校 運営目標個性を尊重し、「生きる力」「自ら行動する力」を育む
総合教育の実践

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。お子様が安心して充実した学校生活を送れるよう教職員一同、誠心誠意支援していく所存です。

中高では生徒の進路希望実現を最優先課題とし、進路指導の充実・授業改善・環境整備等に努めて参ります。そのためには、なるべく早い段階で具体的な進路目標を定めるとともに、その目標実現に向かって着実に努力を積み重ねていくことが重要です。目標があれば頑張ろうとする気力も湧いてきます。加えて、取り組みが早ければ早いほど目標達成の可能性も高くなります。そ

して、「継続は力なりで」努力を続けていけば着実に実力がついていき、目標達成も近づいてきます。是非、早めに将来の進路について親子で話し合う機会を設けてください。

本校では放課後学習支援センターを設置しており、中学生は全員が利用可能、高校生は希望制で利用可能としています。是非、有効活用し、自ら勉強する習慣を一刻も早く身につけてください。また、本校では生徒全員に1人1台ノートPCを所持してもらい、情報活用能力の育成を図るとともにそのPCを活用したオンライン英会話をこれまでは4年・5年で実施して来ましたが、



今年度より2年・3年でも拡大実施します。

YFUやロータリークラブを通じた留学生の受け入れや留学機会推進の取り組みも積極的に行います。コロナ禍で中断していたオーストラリア姉妹校との交流は昨年度より再開し、姉妹校の生徒・教員が本校にやって来ました。しかし、現地でのホームステイができない状況があるため、本校からオースト

日出学園中学校・高等学校
校長

堀越 克茂



ラリアへ訪れるのは2026年度になる見込みです。

1年生は4月10日から2泊3日、軽井沢山荘にてオリエンテーション合宿を行いました。入学して早々ではありますが、1年生はこの行事により学園生活に対する理解と級友との親交をいち早く深めることができたように思います。4年生は校内でのオリエンテーション開催でしたが、高校生だけあってすぐに学校生活にも慣れてくれたように感じます。

何卒、本学の教育方針にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特集 2024年度新任教諭《1年の振り返り》アンケート

国語科
中・高 井澤 陸斗 Izawa Rikuto

- ①「アットホームな校風」という謳い文句が本当だったこと。
- ②国語の魅力を生徒に伝えられるようにすること。
- ③学ぶ姿勢を体現するような教員でありたい。
- ④『ピブリア古書堂の事件手帖』三上延：著／僕が中学生の時に出会った本で、それまではあまり手に取ることのなかった近代文学を読むきっかけになった本です。



数学科
中・高 伊東 飛紀 ITou Asuki

- ①生徒と教員の距離が近く、仲が良いことが印象に残っています。体育祭、日出祭など、生徒と教員が一致団結している姿がよく見られました。
- ②温故知新。2年目になってできることが増えてきましたが、先輩方や先人からたくさんを学び続けます。
- ③生徒とともに、学ぶことを忘れない教師です。
- ④『零の発見-数学の生い立ち-』吉田洋一：著／学問としての数学の発展は、アラビア人による零の発見から始まります。何十世紀にもわたる数学史の旅を楽しみましょう。



英語科
中・高 大裕 義展 Oohazama Yoshinobu

- ①高3の進学コースの英語のチーフをつとめたこと。とてもいい経験になりました。
- ②新年度は人生で初めての担任をもつので、しっかりクラスの生徒たちと向き合っていきたいです。
- ③生徒たちに寄り添う教師。教員になるうとおもったきっかけはGTOというドラマを観たことです。
- ④推理を楽しみたいので、東野圭吾の本は結構読みます。『容疑者Xの献身』『白夜行』はベタですが、好きです。



年中 もも組 担任
幼稚園 中川 多恵 Nakagawa Tae

- ①お店屋さんごっこ。
- ②メリハリのある保育を行う。
- ③子どもたちとたくさん遊ぶ教師。
- ④『エルマーのぼうけんシリーズ』／子どもたちがお気に入りだったため。



図工専任
小学校 戸田 美穂 Toda Miho

- ①校舎の広さと児童の多さ。前任校は各学年2クラスの28人だったので日出学園小学校の児童数にとても驚きました！
- ②健康に1年を過ごすこと！2024年は体調を崩してしまうことが多かったので……今年度は健康に、子どもたちと過ごしていきたいと思います。
- ③いつも笑顔で、困ったときに声がかけやすい頼れる先生。
- ④白岩さんの『空に唄う』／中学生の時に読書感想画コンクールに応募して、初めて絵で賞をいただいた本なので時々読みたくなります。



養護
小学校 濱 友喜 Hama Yuki

- ①林間学校です。宿泊行事を通じて、普段の学校生活では見られない子どもたちの新たな一面を見ることができました。
- ②昨年度よりも多くの子どもたちと関わり、お話したいです！
- ③話しやすい先生。
- ④ミステリー小説が好きです。犯人やトリックを予想するのが楽しいからです。



特集

2024年度 新任教諭

私の日出学園 1年の振り返り

2023年度末、日出学園で長きにわたって教鞭を取られたベテラン教諭が多数退職され、その先生たちに代わって、2024年度4月より多くの新任教諭が幼稚園、小学校、中学校・高等学校に着任しました。園児、児童、生徒、そして同僚の先生方と過ごしたこの1年。新人先生たちの目には、日出学園はどう映っていたのでしょうか？そして2年目となる今年度を迎えての抱負、さらには目指す教師像など、アンケート形式で伺いました。

アンケート 質問項目

- ①日出学園での最初の1年で印象に残っていること
- ②2025年度(新年度)の抱負
- ③自分が目指したい教師像
- ④愛読書やお薦めの本／お薦めの理由

年長 ふじ組担任
幼稚園 前田 奈保 Maeda Naho



- ①年中主催のお別れ会。今まで年長組がやってきたことを自分たちがやることにより、自信にもつながったこと。
- ②子どもたちの成長を感じる瞬間を大切にしながら一人ひとりに寄り添った保育をしていきたい。
- ③一人ひとりの個性を大切にしながら、子どもファーストな先生。
- ④お薦めの本は『ごめんねコロッケ』。現代の家庭環境を反映しながらも家族それぞれの思いがわかりやすく子どもたちに伝わる場所。

2年1組 担任
小学校 齊藤 奈々 Saitou Nana

- ①日出祭です。子どもたちの普段とは違う姿を見て、とても感動しました。
- ②子どもたちと毎日元気に過ごすことです。
- ③楽しく、ためになる授業ができる教師になることが目標です。一番大切なことは授業であり、授業から信頼関係が築けると考えているためです。
- ④方丈貴恵さんの『少女には向かない完全犯罪』です。この本は6年生の女の子に薦められて読んだ本です。この本の話を通じて、その子と距離を縮められた大切な本だから選びました。



4年3組 担任
小学校 橋本 和弘 Hashimoto Kazuhiro

- ①自らお楽しみ会を企画する子どもたちの自主性です。1年間を通し、主体性をもって自ら動く姿勢は、日出っ子の良さであると感じました。
- ②子どもたちのいろいろな一面をみる！子どもたちの学校生活は教科ばかりではありません。他教科での姿や学級での姿、友だちとの姿など、さまざまな姿を見ていきたいです。
- ③自らの手で調べ、自らの頭で考えられる教師。
- ④『天の光はすべて星』フレドリック・ブラウン：著／今ある情熱をさらなる強さに、そして今失っている情熱を再び燃え上がらせてくれるからです。



2年4組 担任
小学校 佐藤 志穂 Satou Shiho

- ①吹奏楽クラブと一緒に演奏したことです。卒業式では立派に演奏していて驚きました。
- ②子どもも私も毎日学校に行くのが楽しいクラスにします！
- ③学び続ける先生。
- ④『ハリーポッターと呪いの子ども』／ハリーたちが大人になった20年後の世界を描いた物語です。



英語科
中・高 平野 梨那 Hirano Rina

- ①90周年式典がすごい！日出の90周年記念は市川市長に来ていただき、銅像を建て、こんなにも盛大に行われるのか、と驚きました。
- ②もっとわかりやすく、英語に興味をわくような授業を心掛ける！
- ③メリハリのある先生！
- ④『Matilda』／英語の本ですが、学校生活がメインのお話なので、中高生でも比較的読みやすいかなと思います。正義が勝つ話です。



英語科
中・高 ブーティリエ・クレイ Boutillier Clay

- ①日出の生徒たちがとてもフレンドリーであることに驚きました。私のクラスにいない生徒たちも話をしようとしてくれました。彼らのオープンマインドを見て、未来を担っていることが嬉しくなりました。
- ②新年度、私は高校生を対象に、翻訳というよりも英語の実用性を重視した新しいコースを日出学園で始めます。このコースが、生徒たちが英語を生活で使えるコミュニケーションツールとして認識する上で役立つことを願っています。
- ③私は生徒の成長を深く気にかけ、それを生徒に伝える教師になりたいです。
- ④カール・セーガンの『コスモス』。好奇心と驚きを持って生きていくことが大切です。



音楽科
中・高 北谷 しずく Kitatani Shizuku

- ①中1の底なしのエネルギーがすさまじかったこと。
- ②ソファーで寝落ちをしない！
- ③納得感のある指導ができるように心がけています。
- ④『葡萄が目にしみる』林真理子：著／「共感性羞恥」の原点はここ。ただし、読後の爽快感はやみつきです。思春期真っ只中の皆さんにぜひ読んでもらいたい！



英語科
中・高 笠井 美結 Kasai Miyu

- ①素直で明るい生徒が多いこと。生徒の皆さんのおかげで、1年間楽しく働くことができました。
- ②授業力向上のため、努力を怠らない。教える側でもあります、私自身も多くの学ぶ姿勢を持ち続けます。
- ③生徒にとって、安心して話ができる身近な大人でありたいです。
- ④『私とは何か「個人」から「分人」へ』平野啓一郎：著／さまざまな面を持つ私、どれが本当の私なのかを考えることができます。



家庭科
中・高 小松 稚菜 Komatsu Wakana

- ①学校行事で生徒とともにさまざまな感情を共有して、楽しい時間を過ごしたことです。生徒たちと深くかかわりあうことでのんびり一面を見られることがとても楽しく、我が子のように可愛いと思えました。これからの成長が楽しみです。
- ②2年目なので「自分の仕事を自分で熟す」ということを意識したいと思います。今年度はたくさん先生方に支えていただき、1年目という特権で甘えさせていただいた点も多かったのですが、新年度はこの1年の経験を存分に活かして、効率よくミスのない仕事をしていきたいと思っています。
- ③生徒、先生方、保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、信頼される教師を目指していきたいです。また、常に公正公平でありたいと思っています。
- ④伊坂幸太郎、朝井リョウ、さくらももこ、どの作家さんも、作品以外にもエッセイが面白く、気持ちが明るくなります。



2025年度新任職員紹介／TOPICS

「はじめまして！」

2025年度 新任教諭 自己紹介

2024年4月より、日出学園に新たな先生が着任しました。新任先生方から、「はじめまして」のあいさつを込めた自己紹介を、アンケート形式でいただきました。

- 質問項目
- ① 教員を目指した理由は？
 - ② 日出学園で楽しみにしていること
 - ③ 自分の得意なこと・苦手なこと
 - ④ 愛読書 or お薦めの本 / その理由

幼稚園
江上 菜里 Egami Mari

① 子どもの成長を間近で支えられる仕事に魅力を感じ、教員を目指しました。
 ② 日出学園では、子どもたち一人ひとりの個性を大切にしながら、楽しく学び合える環境づくりに関わることを楽しみにしています。
 ③ 得意なことはコツコツ物事を進めること、苦手なことは初めてのことに緊張してしまうことです。
 ④ お勧めの本は『みをつくし料理帖』高田 郁：著／困難に立ち向かいながら成長する主人公の姿に勇気もらえる一冊です。

小学校 3年2組担任
山本 雅 Yamamoto Masashi

① 小学校4年生の時の秋本先生にすごくお世話になり、憧れたから。
 ② 校庭や教室がとても広いので、のびのびと勉強したり遊んだりできること。
 ③ 得意なことはバドミントン、鉄棒、体操。苦手なことは、球技全般。
 ④ 星新一ショートショート。1話ずつが短くて読みやすいのに、何年経ってもふと思いついて、考えさせられてしまう不思議な面白さがあるから。自分は小学生の頃に読みましたが、何歳で読んでも違った楽しみ方ができると思うのでお勧めです。

小学校 1年2組担任
長谷川 亜姫子 Hasegawa Akiko

① 小学校5・6年生のときの担任の先生に憧れたからです。太陽のような笑顔が素敵で、「こんな大人になりたいな」と思いました。
 ② 日出祭です。学園全体で行う唯一の行事だと聞き、今からとても楽しみにしています。
 ③ 得意なことは、人の素敵などところを見つけることです。苦手なことは、早起きをすることです。毎朝がんばっています。
 ④ 『星の王子さま』です。共感できる言葉がたくさんあるから。ぜひ、読んでみてください。

中学校・高等学校 技術
宮本 翔人 Miyamoto Hayato

① ものづくりが好きで、仕事に楽しかったからです。
 ② 何もかも初めてのなのですべてが楽しみです。特に日出祭が楽しみです。
 ③ ものづくりが得意ですが、0からの設計や構想は苦手です。
 ④ 『嘘をもう一つだけ』東野圭吾：著／私はミステリーなどの考えながら読む本が好きですが、ある程度ミステリーを読み慣れてしまうと展開が読めてしまうことがあります。しかし、この作品はいろんな角度から裏切ってくれました。また、各章が短く独立しているので、普段からミステリーを読む人も、あまり本を読まない人にもお勧めできる作品です。

中学校・高等学校 社会(公民)
堀井 駿 Horii Shun

① 教育実習時に、「この仕事しかない！」と確信したからです！人生の分岐点になった出来事でした。
 ② 日々の授業、行事など、たくさんの方が楽しんでいます。日出学園のことを教えてくれると嬉しいです！
 ③ 得意…料理、絵を描くこと 苦手…数学、球技
 ④ 『二千七百の夏と冬』荻原浩：著(双葉文庫)／縄文時代を題材とした小説で、戦、愛、人を想う心を描いています。歴史に思いを馳せられる一冊です。

中学校・高等学校 英語
岡田 花奈 Okada Kana

① 中学生の時の担任の先生が「声がいいね」と私の良さを引き出してくれたこと。
 ② 生徒たちとの出会いです。
 ③ 得意なこと：顔と名前、誕生日を覚えること。苦手なこと：ボール投げ。
 ④ 『アメリカの高校生が学んでいるお金の教科書』アンドリュー・オ・スミス：著 枝田直美：訳／景気や投資など、自立するうえで知っておきたかったお金に関することが、分かりやすく網羅されています。

小学校 算数TT
黒崎 琴葉 Kurosaki Kotoha

① 日出学園小学校での学校生活が楽しかったので、先生として働きたいと思いました。
 ② 3年生の副担任になったので、林間学校に行くことが楽しみです。
 ③ 得意なことは金魚すくいです。苦手なことはリボン結びを綺麗に結ぶことです。
 ④ 『Wonder』R・J・バラシオ：著 中井はるの：訳／見た目が他の人とはちょっとちがう主人公のオギーが、友だちや家族との関わりの中で成長していくお話です。主人公以外の視点からも話が展開されるので読みやすく、感動するお話なので、ぜひ、読んでほしいです。

小学校夏服に新たなパターンを採用

従来の夏服 + 盛夏服 = ポロシャツとジャンパースカートの組み合わせ (New)

従来の夏服 + 従来の半ズボンとポロシャツとの組み合わせ (New)

2025年度より、小学校の夏服に新しいパターンが加わります。年々夏の暑さが厳しさを増す中、児童が快適に過ごせるよう、吸汗速乾性に優れたストレッチの効いたポロシャツを採用しました。女兒は防犯性の観点からキュロットスカートを採用しました。従来のジャンパースカートのポロシャツ、ブラウスにキュロットスカートの組み合わせも可能です(男女ともポロシャツと冬服上着の組み合わせは不可)。また、男女の冬服もウォッシュアップ化し、いずれの制服もご家庭での洗濯・お手入れが可能となりました。

小学校 絵本をモチーフに 教員が作詞・作曲した曲を交えて 1年生たちが保護者を前に絵本の朗読劇を披露

2024年度最後の授業参観が1月25日(土)に小学校で開催されました。各教室やアリーナなどで行われた授業では、日頃の児童たちの勉強への取り組みを、保護者の方々に見ていただきました。

1年生は全クラス合同の学習発表会として、視聴覚室で**絵本の朗読劇**を保護者に披露しました。この発表会は、1年生が毎日宿題として取り組んできた、国語の教科書の音読の成果を発表するもので、児童たちは絵本を暗記し、さらに児童たちのアイデアで考えた振り付けを交えながら朗読しました。そして、絵本の内容をモチーフに教員が作詞・作曲した曲の合唱を加え、ひとつの朗読劇に仕上げました(各組の題材の絵本は下写真参照)。

3学期に入り、1年生の4クラスはそれぞれ発表する絵本を暗記しました。1年3組の後藤紗智子先生が各クラスの絵本を題材に作詞し(4組は既存の曲を使用)、音楽専科の富樫紗弥先生が、児童たちが歌いやすい音域やリズムを念頭に挿入歌を作曲し、音読と合唱による朗読劇に仕上げました。児童たちは約2週間の短い期間の中で発表会に向けて練習を重ね、各クラスの担任の先生たちも、伴奏する楽器の練習に取り組み、本番に臨みました。

そして、発表会の最後には先生たちによるサプライズ演出があり、児童や保護者から大きな喝采が沸き起こっていました。

1年生の朗読劇の様子はQRコードからご覧いただけます▶



中学校・高等学校 軽音楽部のバンドが 県大会や関東・全国大会のコンテストに出場。 個人奨励賞に選出されるメンバーも

中学校・高等学校の軽音楽部のライブ活動が盛況です。軽音楽部のライブ演奏は日出祭などでしか目にする事ができませんが、軽音楽部に所属するバンドは、それぞれ、他校に招待されてライブ演奏を行うほか、ここ最近では県の大会や、その先の関東大会、全国規模のバンドコンテストにエントリーして、本選に進むバンドも出ています。そして、ドラムやベースなどのパート部門で奨励賞を受賞するメンバーもいます。

今回紹介する3バンド「たまゆら」「Aster」「ぶらねたりあ」は2024年度に、下記表にあるようなバンドコンテストに出場、県大会、関東大会、本選の全国大会に進むなど、目覚ましい活躍を見せています。

「数年前の部員たちが大会に出場したのを機に、大会出場を目指す生徒たちが増えてきました。大会出場は他校のバンド演奏に触れることで刺激になり、ノビシロも増えます」と顧問の瀧口和隆先生。今回は上記3バンドの、卒業生を送る学園内ライブ演奏と、出場した大会での演奏の様相を取材しました。パワフルなステージ演奏をご覧ください。



バンド名	出場大会・コンテスト結果
たまゆら	全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル 2024夏の陣 奨励賞 個人(ドラム) 大谷光柚 全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル 2024夏の陣 奨励賞 個人(ベース) 永瀨のあ
Aster	令和6年度 第11回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会 準決勝進出 令和6年度 軽音楽研修会 第13回千葉県高等学校 軽音楽新人コンテスト 本選出場 令和6年度 第27回高校生バンドフェスティバル(千葉県) 出場 Tokyo Music Rise 2025 spring Final Stage(全国大会) 出場
ぶらねたりあ	令和6年度 第6回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会 出場

TOPICS / 人・ひと・ヒト《学園長特別表彰卒業生 / 2024年度 日出育英会奨学生 / 退職教職員

小学校

卒業式を間近に控えた6年生に
東京歯科大学市川総合病院
福島裕之先生が「いのちを考える授業」を開講

小学校の卒業式が間近に迫った3月5日(水)、6年生の卒業記念特別授業として、「いのちを考える授業」が行われました。この特別授業の講師は、日出国園から程近い、東京歯科大学市川総合病院の副病院長、福島裕之先生が務められました。福島先生は同病院の小児科部長として、日頃から多くの子どもたちの患者に接してこられています。

視聴覚室に集まった6年生を前に、福島先生は、まず「命とは？ 生きることとは？」を問いかけます。そして、スペインを代表する哲学者、オルテガの言葉「私は、私と私の環境である」を引用しながら、哲学的なアプローチで、「私の命は私の周りの人や生い立ちとつながっているもの」と説きます。

そして、医師としてのアプローチから「病気



生きることへのメッセージがこめられた「いのちを考える授業」と福島先生(丸内)

の成り立ち」「私の命はどこから？」「人の命の誕生」「遺伝子の正体、DNA」「生と死」とテーマが進み、最後に福島先生は「どう生きるか」というテーマについて、友だちや家族と話し合っ、考えてくださいと締めくくりました。小学生にはまだ難しいテーマもあったようですが、改めて「私とは？」「自分の命は自分だけのものではない」ということを見つめ直して考える、貴重な機会になったようです。

「いのちを考える授業」の動画はQRコードからご覧いただけます▶



2024年度卒業生 学園長特別表彰 12年間皆勤賞受賞者

2025年3月1日、高等学校卒業式で、小学校から高等学校まで無遅刻・無欠席・無早退の12年間皆勤の卒業生、川原諒大さんと大熊美優さんが、青木学園長より学園長特別表彰されました。ここに卒業生のお2人とお母様方の受賞コメントを掲載いたします。

川原家はお母様が日出国園小学校のご出身で、2022年に日出国園高等学校を卒業したお姉さんのみず希さんは、日出国園小学校から12年間皆勤で学園長特別表彰を受賞(vol.37既報)。そして、2024年度卒業の諒大さんも12年間皆勤賞受賞と、姉弟ともに小学校から高等学校まで、毎日元気に日出国園に通い続けての卒業となりました。



川原 諒大さん

姉弟2人の12年間皆勤をサポートしたお母様は、「お姉ちゃんもこの子も、毎日楽しそうに日出国園に通っていて、一度も『学校に行きたくない』といったことはありませんでした。お弁当もきれいに食べて帰ってきてくれました」と、これまでを振り返ります。

諒大さんにとって印象に残るエピソードは、「小学校の頃は友だちたちと深く関わる

ことがなかった自分ですが、中学校の入学式で初めて話した同級生と、その後6年間、一緒に遊びに行くまで仲良くなるなんて、今となっては不思議な気がします」と、友人との出会いがいちばん印象深かったと語ります。

そして、「これまでの人生の3分の2か、それ以上の時間をこの学校で過ごしてきました」という日出国園での学園生活については、「先生方や友だちに支えられて楽しく過ごしてこられたことに、感謝しかありません。ありがとうございました」とのコメントで締めくくりました。

サッカー部の部活に明け暮れた毎日。理工系の大学に進学が決まり、大学でもサッカーを続けたいと、また新たな出会いに期待を膨らませていました

皆勤賞を受賞されたご家族への質問で、毎日の「手作りのお弁当」が話題に上りますが、大熊さんのお家庭では看護師のお母様に代わり、お父様が毎朝美優さんのお弁当を作り、遅刻しないように送り出していたそうです。



大熊 美優さん

「彩りもいいお弁当で、お米1粒残さず食べて帰ってきてくれました」とお母様。その美味しく栄養も行き届いたお弁当は美優さんの健康を支え、毎日、元気に楽しく日出国園に通い続けることができました。

小学校ではバドミントンクラブや体育クラブに所属。中学の部活ではソフトテニスに夢中になった美優さん。ご本人は「すごく負けず嫌い」とのことですが、お母様曰く「相手にとりより、自分に負けるのが嫌い。自分で設定した目標をクリアするまで頑張る子です」。

新型コロナウイルスの蔓延で学校にも行けず、部活動も休止を余儀なくされた時は「本当に辛かったです」と、当時を振り返ります。

そうした時期を乗り越え、「管理栄養士」という新たな目標を見つけた美優さん。この春からは栄養学部の大学に進学が決まりました。

「私は赤ちゃんが好きで、助産師もいいかなと思っていたのですが、いろいろ悩んで、先生に相談したら管理栄養士という国家資格の職業があることを知り、その道に進むことにしました。将来は赤ちゃんや子どもたちに栄養のある美味しい食事を提供できる、管理栄養士を目指したいと思います(美優さん)

お父様の、愛情のこもった手作りのお弁当は、美優さんの進路にも、きっと大きな影響を与えたに違いありません。

IPA「情報セキュリティコンクール」で
山田柊紀生さん(小学6年)の標語が千葉県優秀賞受賞

受賞標語：これでもか 多要素認証 嚴重に



第20回「ひろげよう情報セキュリティコンクール」で、標語部門に応募した小学校6年2組の山田柊紀生さんの作品が千葉県で優秀賞を受賞しました。

同コンテストは、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が、情報セキュリティの意識を全国の児童や生徒たちに醸成させることを目的に毎年行っており、日出国園小学校では夏休みの課題として取り組んでいます。

2024年度のテーマは「サイバーセキュリティ対策9か条」。OSを常に最新のものに、パスワードを複雑にする、多要素認証の利用、偽のメールやサイトに注意する等々、安全にインターネットを利活用す

るための対策を、標語やポスターで訴えるものです。

「簡単なパスワードや、その人の声だけで認証できてしまうようなサイトでは、本人になりすましてお金が盗まれてしまうこともあるということを、情報の授業で勉強しました。それで僕は多要素認証をテーマにした標語を作りました」。

思いがけない今回の優秀賞受賞は「お母さんにも褒めてもらえて、とても嬉しいです。ご褒美に本を買ってもらおう予定です」と山田くん。これからも情報セキュリティの学びを、さらに深めていってください。

2024年度 日出育英会奨学生

2024年度、部活動等の課外活動で優秀な成績を修めた児童・生徒・部活動に、日出育英会より奨学金が授与されました(個人に対し5万円、1部活動に対し15万円)。ここに2024年度奨学生を紹介します。(敬称略)

	学年・組(2024年度時)	氏名	授与理由
中学校	2年4組	長谷川実和	第6回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会出場
	3年4組	金坂友剛	第64回全国中学校水泳競技大会出場
	4年4組	神原 葵	第50回全日本バトントワーリング選手権大会出場
	中学バトントワーリング部(代表・3年4組 半藤稔)		第52回バトントワーリング全国大会出場
高等学校	高等学校バトントワーリング部(代表・5年4組 一柳沙英)		第52回バトントワーリング全国大会出場



(左から)長島ひので会会長/青木学園長/金坂さん/長谷川さん/半藤さん/一柳さん/神原さん/荻原小学校校長/高等学校教頭補佐・大山先生/鍛冶幼稚園園長

2024年度 退職者

小学校	円谷晃史(専任)	増井幸治(准教諭)		
中学校	大島恭平(専任)	高科拓海(准教諭)	荒木真里奈(准教諭)	神田恵梨香(講師)
	佐藤道代(講師)	鳥田壽子(講師)	秋葉裕幸(講師)	竹内香貴(講師)
高等学校	窪田謙(講師)	村田祐一郎(講師)	山本俊一(講師)	亀田拓(派遣)
	勇亮太(指導員)	阿部蓮太(指導員)		
学園業務部	天野遥太(指導員)	高橋歩未(指導員)		

編集後記

学園創立者が見守る新たな景色

日出国園のプロムナードに新たな景色が加わりました。朝夕、ここを歩き交う在園生を、日出国園創立者、青木要吉翁の銅像が優しく見守っています。その眼差しに癒えるかように、銅像に帽子を取り、お辞儀をする児童も。なんとも微笑ましい光景です。昨年度、創立90周年を記念して寄贈された日出国園創立者の銅像は、10年後に迫った100周年、さらにその先も変わらず、在園生を見守り続けることでしょう。

編集発行人 学校法人日出国園 学園長 青木 貞雄

学園通信「日出」 Vol.46 2025年5月号

本紙掲載記事・写真の無断転載を禁じます。

発行 2025年5月1日
編集発行人 青木 貞雄(学校法人日出国園 学園長)
編集 学園通信「日出」編集委員会
幼稚園 池部かほり 澤居 未来
小学校 田中 秀明 新井麻由美 日下 瑞穂
中学校・高等学校 石川 茂
法人企画室 児玉 尚樹 児玉 孝喜 渡邊 広樹